

こんにちは
日本共産党

市議員

西野さち子です

暮らしの目線で市政を変える

発行：2016年4月24日
連絡先：日本共産党伏見地区委員会
TEL(611)9135 fax(602)9117



昨年の年に、自民党・公明党の安倍政権とその補完勢力によって戦争法が強行されて7ヶ月。戦争法（安保法制）廃止の世論を継続させようと多彩な運動が取り組まれています。

4月の日に毎月の日宣伝が行われました。西野市議は地下鉄醍醐駅前で行われた日本共産党や京建労醍醐支部、九条の会・醍醐の2000万人署名に参加して、戦争法廃止を訴えました。途中、大河原としたか参議院予定候補を迎えて、戦争法廃止を訴えました。

西野市議は「夏の参議院選挙で京都から大河原予定候補を国会に送り、国民いじめの政治から暮らしを守る政治に変え、戦争法を必ず廃止しましょう。」と力を込めました。

桃山南学区

電力自由化の学習会と 議会報告会



桃山南学区で、4月から始まった電力自由化について「電力自由化と私たちの選択」と題してコンシューマーズ京都の西山氏の講義がありました。

した。電力自由化の経緯とそもそも電力自由化の出発点や私たち消費者がまず最初にすること、などについて講義がありました。「自宅の電気使用の状況を知ること。ケースによっては今より高くなることも。安いところでは月4000円くらいが分かれ目になること。原発の電気は使わないこと」などを学びました。

その後、西野さち子市議の議会報告が行われ、京プランの市民リストラ計画予算に反対したこと。桃山南の公共交通空白地域解消や遠距離通学支援について京都市を質したことなどが報告されました。参加者からは「市民新聞では京プランについて、そんなひどい内容だとは書いてくれない。もっといろいろなところで市民に教えてほしい」「京プランの内容を詳しく知りたい」等の発言がありました。

市政報告

まちづくり市民会議主催の京都市公共施設マネジメント基本方針を考える学習会が開かれ西野市議が参加しました。報告1は「京都市公共施設マネジメント基本方針について」新建築家技術者集団の久永雅敏氏。報告2は京都自治労連委員長の池田豊氏による「京都市の学校跡地利用について」。報告3は「考える会」代表の山田和幸氏による「鷹峯市営住宅地等の再利用を考える」で、内容豊富な学習会でした。

会場に入りきれない多くの参加者で、資料が足らず、急きよ、印刷に走られる事態になりました。ホテルや億ション建設、世界遺産壊し等、京都のまちがこれ以上壊されることには許せません。一方で資産活用として、学校跡地や公共施設跡地等の売却が進められています。しっかりと市民の皆さんにお知らせをして、京都のまちづくりを考える必要があります。

